

創新

会報第26号（議会報告）

江田島市議会議員

胡子まさのぶ



ごあいさつ

明けましておめでとうございます。平成28年が始まりました。平成15年に町議会議員となつて政治活動も6月から14年目に入ります。昨年は国の地方創生方針により江田島市の平成27年度からの5年間の重点プロジェクトをまとめた「江田島市総合戦略」ができました。この総合戦略に書いてある計画に沿って予算編成がなされます。「戦略」どおりに実行されるかしっかりチェックしていきます。

私の目標は、江田島市を『行ってみたい、住んでみたい、恵み多き島』にすること。

- ① 船便の利便性確保
- ② 子育て世代が生き生きと、お年よりも元気でのびのび生活できる環境づくり
- ③ 教育環境・子育て環境の充実
- ④ 一次産業の復活と六次産業化

いよいよ地域おこし協力隊募集へ！

平成26年12月及び平成27年9月定例会一般質問の実現です。

江田島市では今年4月から市内で次の5事業で働いていただく協力隊員を募集。

- ① オリーブの栽培
- ② オリーブの普及促進
- ③ 県立大柿高校の魅力

先ずは、江田島市の募集に対して、素晴らしい人材が応募していただけることを願うばかりです。受け入れ側の市役所もしっかりと

- ⑤ 宿泊施設の確保
 - ⑥ 市民満足度の高い行政サービスの確立
- この目標に向かってまい進します。忌憚なきご意見をください。今年一年がみなさまにとって素晴らしい年でありますように。

- ④ 市への移住促進事業
- ⑤ NPO法人江田島eスポーツクラブ運営支援

オリーブ栽培や研修促進
地域おこし隊募集へ

江田島市では、今年4月から市内で次の5事業で働いていただく協力隊員を募集します。

① オリーブの栽培
② オリーブの普及促進
③ 県立大柿高校の魅力

先ずは、江田島市の募集に対して、素晴らしい人材が応募していただけることを願うばかりです。受け入れ側の市役所もしっかりと

12月定例会一般質問

12月3日～12月10日に12月定例会が開催されました。平成27年6月に公職選挙法等の一部を改正する法律が成立し、公布されました。平成28年6月19日に施行予定であり、選挙権年齢も18歳以上へ引き下げられることとなります。これに関連して一般質問をしました。

子ども議会再開について

【胡子】江田島市では平成22年と平成23年の2月に市内の小中学生を対象とした「子ども議会」を開催したが、その後、開催されていません。小中学生が議会制民主主義について実際の議場で学ぶ機会が担い手として市政への参加意欲を高めるためには大切なことです。ぜひとも再開してはどうか。

【教育長】子ども議会は現実の政治を素材とした実践的な活動であり、その活動を通して「政治的教養」の理解を深めると考えます。再開については、当時の成果と課題を踏まえ



【胡子】来年から選挙年齢

述べることは児童生徒にとつてよい経験となつた。課題としては、①子ども議員は各学校2名だったので、その子どもたちの学習となつてしまった。②平日に（子ども議会の）学習をしたため、その子のための補習が必要だった。③2年目は質問内容が重複するものが多くなつた。④子どもへの質問に対して答える側（市長、部長）が大人向け（行政用語）となり再質問ができないう状況でした。こういふ状況によって再開しませんでした。

少年議会（仮称）の検討について

【胡子】平成21年3月定例会の一般質問で事例紹介しましたが、山形県遊佐町（ゆさまち）では平成15年度から「少年町長・少年議員公選事業」に取り組んでいます。中学生と高校生が自らの代表である少年町長、少年議員を直接選び、少年議会を通して、政策を実現する過程を学び、町政への提言や意見をまとめ、実際の町の政策に反映されています。

公職選挙法等の一部を改正する法律の公布にともない、総務省及び文部科学省が連携して作成した高等学校の副教材には、模擬選挙・模擬議会等の流れを纏めたワークシートも収録されています。若者の市政や地域づくりを促すこと及び市内中学校と大柿高校の

クラス代表として子ども議会を提案するのも一つの案です。

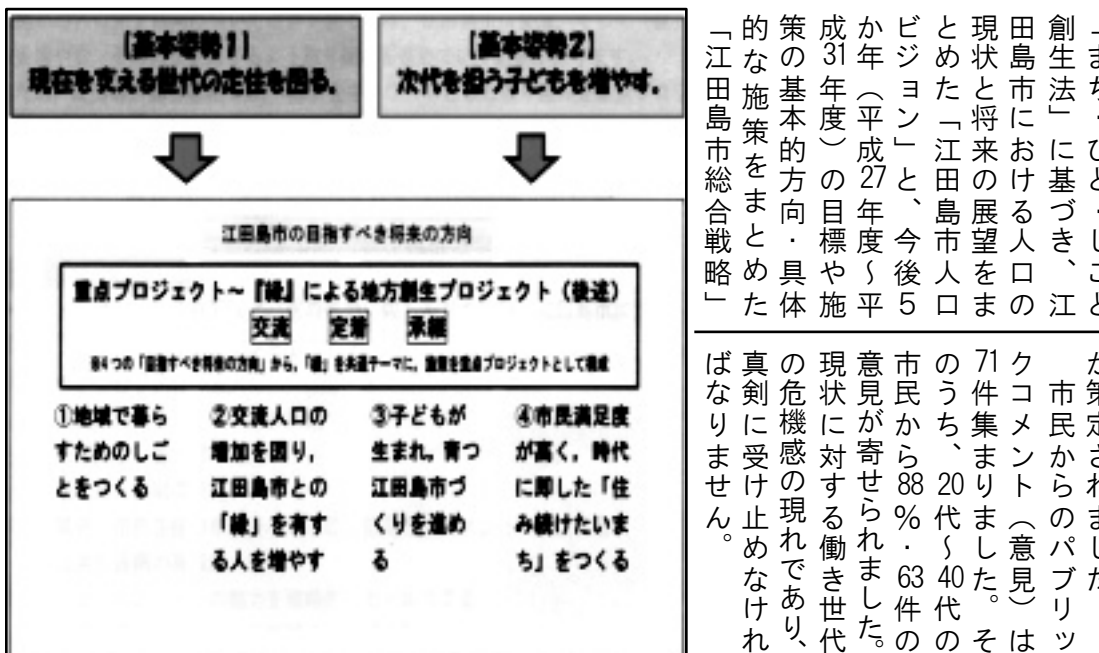
【胡子】（市長と教育委員会が江田島市の教育の課題やあるべき姿を共有する場としての）総合教育会議の議題に挙げることは可能か。

【胡子】ぜひ議題に挙げて協議していただきたい。

（他）を受けた市役所の嘱託職員という身分です。

【胡子】「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、江田島市における人口の現状と将来の展望をまとめた「江田島市人口ビジョン」と、今後5年（平成27年度～平成31年度）の目標や施策の基本的方向・具体的な施策をまとめた「江田島市総合戦略」が策定されました。市民からのパブリックコメント（意見）は71件集まりました。そのうち、20代～40代の市民から88%・63件の意見が寄せられました。現状に対する働き世代の危機感の現れであり、真剣に受け止めなければなりません。

江田島市人口ビジョン・総合戦略策定



2～3名様から出張報告します。お気軽にご連絡下さい。

胡子雅信後援会

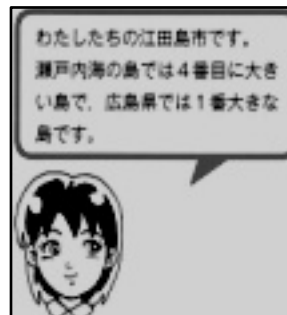
住所：〒737-2213 江田島市大柿町大原5563-4
電話&ファックス：0823-57-2184
E-MAIL：ebisu7@nifty.com
ブログ：http://mebisu924.cocolog-nifty.com/etajima/



「ふるさと教育」について

【胡子】本年度策定する江田島市総合戦略では、「縁」をキーワードとした取組を地方創生の重点プロジェクトに設定しています。プロジェクトの3本柱のひとつに「縁のある人の定着促進」があり、地域への愛着の醸成により「縁」を深め地域との絆を強めることを挙げ、具体的な取組みとして、教育や生涯学習などにおける、愛着を高める「ふるさと教育」の実施とあります。が、どのように進めるのか伺います。

【教育長】学校教育では「ふるさと実感事業」として学校に補助金を交付し、例として地域清掃を小中学生が一緒に行う地域貢献活動や地域を学ぶ活動等がある。生涯学習では、伝統芸能保存会への支援による伝統文化・芸能の保存・継承の取組等があります。さとう



み科学館では、小学5年生全員を対象に海辺学習「マリン・アドベンチャー」や自然観察会を行っています。【胡子】いま地方創生が叫ばれています。まずは自分たちの町を知ることが大切で産業・

歴史・文化を掘り起こし、研いいていくことが大切ではないでしょうか。地域人材の育成について、こういった視点からも「ふるさと教育」の検討をお願いします。

大柿高校への支援拡充へ

平成27年6月定例会で「大柿高校の活性化について」一般質問したことが実現します。江田島市は大柿高校を育てる会、同窓会、学校活性化地域協議会及び大柿高校の要望書に対し、補助金制度の創設を決定しました。今年2月定例会で予算案を議会へ上程する予定です。

12月定例会では、「灘尾弘吉先生顕彰像等維持管理基金条例」(基金約4千300万円)を「灘尾弘吉先生教育振興等基金条例」に改め、来年度予定される大柿高校の台湾交流事業に約40万円支出することを内定しました。

県内外生徒の下宿費用補助

要望書には県外生徒対象とあったが、市としては江田島市以外の県内生徒にも対象を広げる画期的なもの。市補助金は一人当たり月額2万円。

江田島市は平成27年度に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づいて、持続可能な地域公共交通網の形成に関する「地域公共交通網形成計画」を策定します。この計画は自治体を中心となって策定することになっており、江田島市としてはアドバタイザーを登用し、現在、江田島市公共交通協議

江田島市は平成27年度に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づいて、持続可能な地域公共交通網の形成に関する「地域公共交通網形成計画」を策定します。この計画は自治体を中心となって策定することになっており、江田島市としてはアドバタイザーを登用し、現在、江田島市公共交通協議

11月26日に開催された第3回公共交通協議会を傍聴しました。配布資料の計画における施策体系図(案)を見ると、計画の目標(2)において、公共交通の安心度と利便性を高める利用環境の整備が掲げられており、①運賃負担の軽減の検討や利用環境の改善を図ることが盛り込まれ、想定



公営塾の運営費用342万円に対して市が補助金を312万円支出する考えを示す。

12月定例会では、「灘尾弘吉先生顕彰像等維持管理基金条例」(基金約4千300万円)を「灘尾弘吉先生教育振興等基金条例」に改め、来年度予定される大柿高校の台湾交流事業に約40万円支出することを内定しました。

市民の通勤先

※住民アンケート調査結果より

市内では江田島地域への通勤が多い
市外では広島市(特に能美・沖美地域の住民)や呉市(特に江田島・大柿地域の住民)への通勤が多い

通勤先\居住地	江田島 (n=267)	能美 (n=242)	沖美 (n=179)	大柿 (n=251)
江田島	60.3%	57.0%	50.3%	56.6%
能美	2.6%	7.0%	2.8%	2.4%
沖美	0.0%	1.2%	6.1%	0.8%
大柿	3.7%	3.7%	4.5%	11.6%
広島市	12.0%	18.6%	29.1%	10.4%
呉市	19.5%	9.5%	4.5%	17.5%
その他	1.9%	2.9%	2.8%	0.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

市民の通学先

※江田島市資料より

広島市や呉市の高校への通学が圧倒的に多い

通勤先\居住地	江田島	能美	沖美	大柿	合計	割合
江田島市	17	10	2	45	74	15.3%
広島市	51	102	49	53	255	52.8%
呉市	49	5	3	55	112	23.2%
その他	22	8	2	10	42	8.7%
合計	139	125	56	163	483	100.0%

※江田島市の中学卒業生の24~26年度通学先データより集計

される事業として「運賃軽減策の検討」があります。私自身、平成20年12月定例会および平成21年9月定例会一般質問で、船による通勤・通学者への補助金制度創設について提案しました。船便等の理由で転居しているのであれば、現役世代の流出を防ぐためにも必要であると訴えてきました。

このたびの市民アンケート調査では、通勤手当の支給状況は、船便利用者の26%が月額1万5千円以下であり、40%が全額支給以下であるという客観的データが入ってきました。定住促進や人口減少をどう食い止めていくかという視点からの「運賃軽減策の検討」が盛り込まれたことは大きな前進です。もちろん一律補助ではなく、企業等からの通勤手当との差額、世帯年収、世帯の利用者数(子ども通学等)などいろいろな観点から検討し、よりよい着地点が見出せればと思います。

能美海上ロッジのゆくえ

9月定例会で判断

平成27年9月定例会の一般質問に対する市長答弁では、「整備方針を判断するには能美海上ロッジ等3施設事

業評価報告書の詳細な補完調査・分析とリサーチをする必要があり、本年度に、まずこの調査などを実施し、来年度中(平成29年3月末まで)には、公設での宿泊施設整備の必要性の判断を含め、結論を出したい。」という主旨でした。

文書質問を提出しました

9月定例会での答弁と12月4日の新聞報道にニュアンスの違いを感じたので新聞の市長コメントが示している「方向性」について次のとおり文書質問を提出しました。

1. 諮問3施設(国民宿舎能美海上ロッジ、シーサイド温泉のうみサンビーチおきみ)の問題解決に向けた整備の方策に関する提言について方向性を示すということか。
2. また、国民宿舎能美海上ロッジを建て替えるとした場合、建設手法として①行政直接方式(公設)、②PFI方式、③リース方式のいずれかを示すということか。

能美ロッジ3月に方向性

オリーフ栽培拡大に意欲

任期最終年 田中・江田島市長に聞く

江田島市の国土利用計画は、2016年度の国土利用計画に定める。市長は、市が所有する能美海上ロッジの活用について、オリーフ栽培の拡大に意欲を示している。市長は、市が所有する能美海上ロッジの活用について、オリーフ栽培の拡大に意欲を示している。市長は、市が所有する能美海上ロッジの活用について、オリーフ栽培の拡大に意欲を示している。

※執行部からの回答がありましたら別の機会に報告いたします。尚、11月に策定された第3次江田島市行財政改革実施計画には、能美海上ロッジ等整備検討委員会の提言に基づいて新施設の規模や機能、建設手法などについて検討するとあります。(調査研究は平成29年度まで)